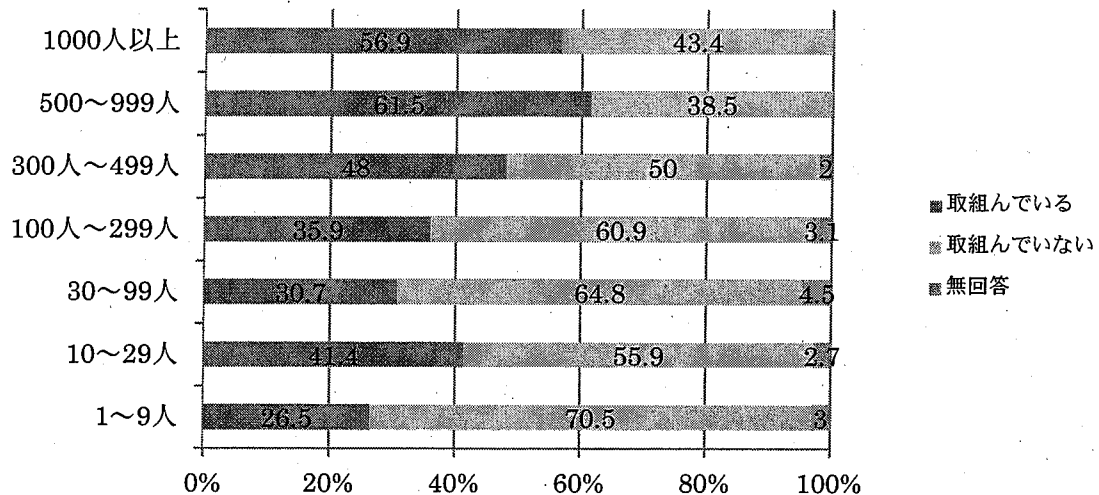


(大阪市民政局:平成 23 年度 企業における「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)への取組み実態調査研究報告書」)

大阪市所在の従業者数 5 人以上の民間事業所 3,631 へ郵送によるアンケート調査

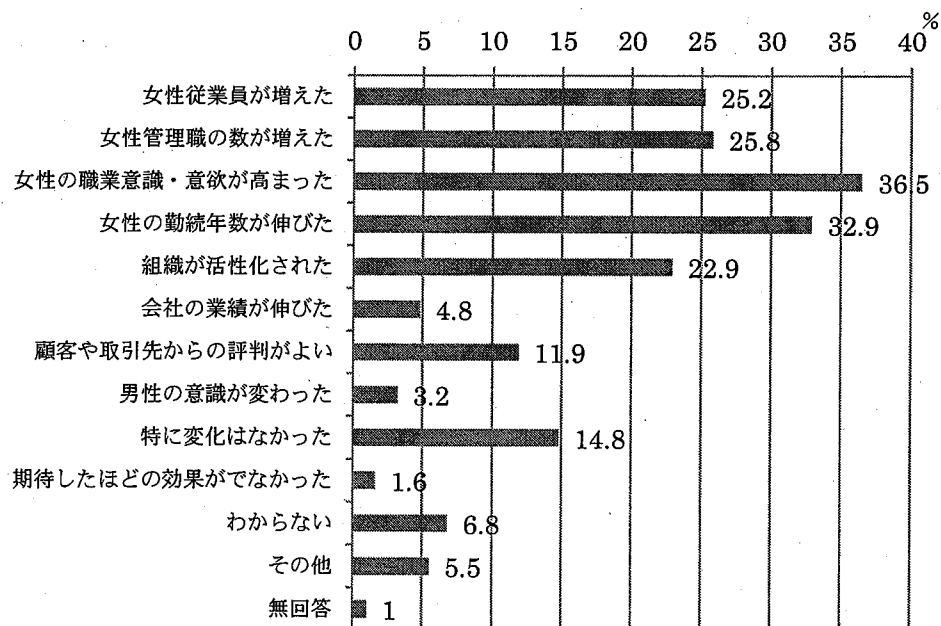
企業の女性の能力発揮促進の取組みについて

① 女性の能力発揮促進への取組みの有無



「300人～499人」で取組みの有無が「取組んでいる」48.0%、「取組んでいない」50.0%と5分5分である。これを境に、従業員規模が小さくなると「取組んでいない」割合が高く、規模が大きくなると「取組んでいる」割合が高くなる傾向を示す。

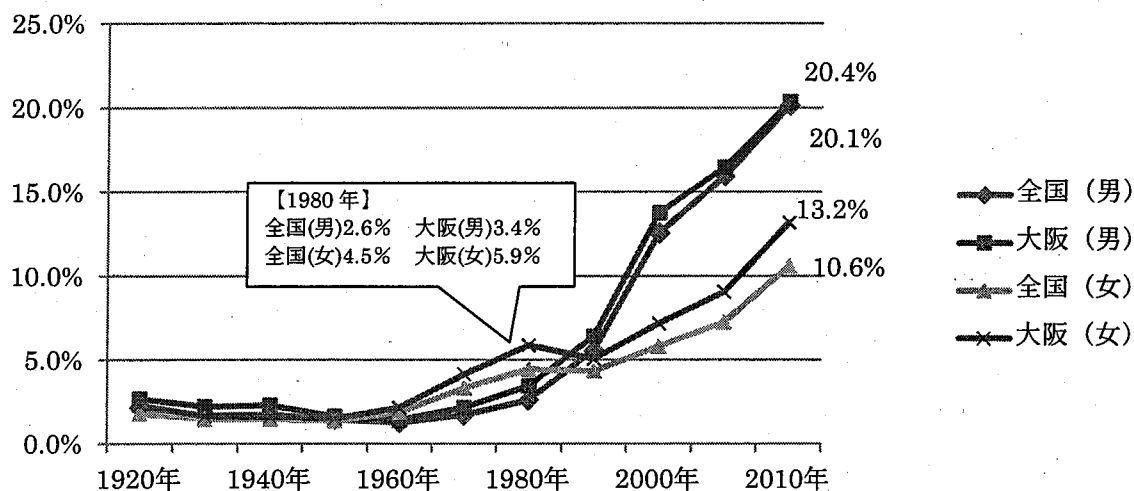
② 女性の能力発揮促進への取組み実施後に変化があったか(○はいくつでも)



実施後の変化については、「女性の職業意識・意欲が高まった」が36.5%と最も高く、次いで「女性の勤続年数が伸びた」が32.9%、「女性の管理職が増えた」が25.2%、「組織が活性化された」が22.9%となっている。「特に変化がなかった」は14.8%となっている。

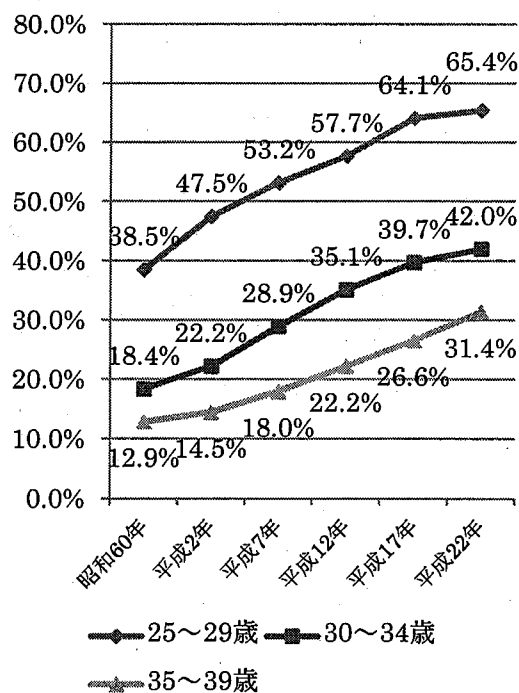
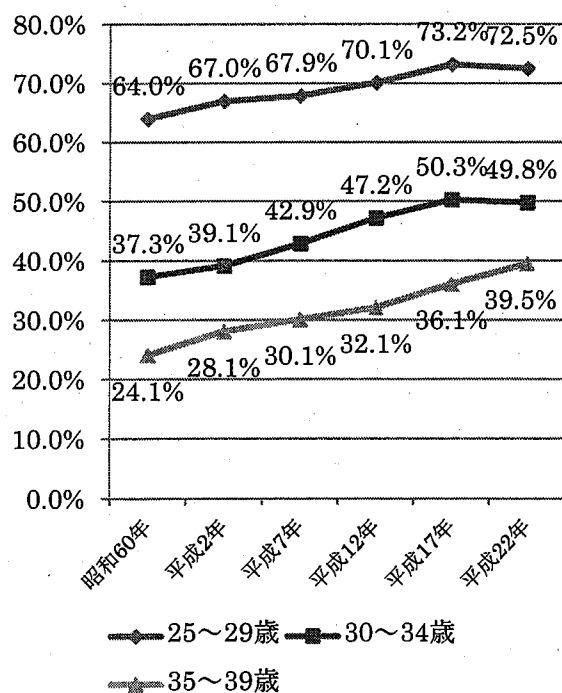
未婚化・非婚化の進行

未婚率の推移



1980年と比較すると大阪(男)では3.4% (1980年) から20.4% (2010年) に、大阪(女) では5.9% (1980年) から13.2% (2010年) に増加している。

25～39歳における男女別未婚率の推移(昭和60年～平成22年)(大阪市)



(平成22年 世論調査)